

令和6年度  
学校関係者評価報告書

JO-BI

学校法人 国際総合学園  
国際ビジネス公務員大学校

## 「令和6年度学校関係者評価」の実施結果と今後の課題について

1. 学校法人国際総合学園 国際ビジネス公務員大学校における「令和6年度自己点検・評価」は、令和7年7月29日に前年度の点検評価結果に係る改善内容も視野に入れ、自己点検・評価を実施し、令和7年8月7日に学校関係者評価委員5名に対し学内職員4名で報告を行い、本書のとおり報告書をまとめた。  
本校の自己点検・評価については一般社団法人全国専門学校教育研究会の策定した、自己点検・評価報告書「作成ハンドブック・作成マニュアル」を基本に進めた。
2. 全国専門学校教育研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに、自己点検・評価を行い、その結果を根拠資料とともに提出。その過程において、不備等の改善について、今後の方向性を協議するとともに、今年度以降の取り組み課題とした。
3. 今後の課題として、令和6年度学校関係者評価を受け一定の方向性を持って、学校評価を進めて行くことにより、本校における質の保証・向上のなお一層の取組充実が図れるよう努めていきたい。

## 学校関係者評価報告書（「学校関係者評価委員会」報告）

### 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

#### 1) 教育理念（建学の精神）

（教育理念）

「教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。」

本校は現代社会の要請、特に地元産業の求める人材の育成を目的とする。

##### ①「スペシャリスト」の育成

実社会で要望され、卒業後すぐ役に立つ資格・能力・知識を備えた「スペシャリスト」を育成します。

##### ②「豊かな人間形成」

社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意志をもった社会人を育成します。

- 2) 教育理念（建学の精神）・目的・目標・校訓等が定められ明文化もされており、ホームページ上でも公表がなされている。また、「学生の手引き」については、学生証アプリ内に格納し、いつでも閲覧ができる環境を整えている。

#### ■評価委員からの意見等

「1 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標」についての意見等はなかった。

## 2 教育の内容

### 1) カリキュラム作成等

カリキュラムについては、年2回の教育課程編成委員会を経て業界ニーズを反映したカリキュラムに都度更新している。シラバスについてはHP上で公開し誰でも閲覧ができる環境を整えている。

### 2) 学習プロセスの改善

毎年2回実施している「授業アンケート」を基にした授業評価、改善内容、担当面談による学校側の改善活動は、教育上必要不可欠である。学生の授業評価は、今後も実施して指導・改善していくことはもちろんのこと、評価の結果を授業改善に活かすという観点から、管理職によるフィードバックの実施を今後も継続し、教育の質向上に努める。

### 3) 教職員の資質の維持や向上

研修は計画的に実施され、各業界の研修にも参加している。継続して研修を実施し質の向上に努める。

#### ■評価委員からの意見等

小項目1.1.14.15について具体的な教職員研修内容についての質問があり、様々な学生や社会状況の変化を見ながら定期的に研修を実施していることを評価していただき、数値も3から4に変更したことについて問題ないとの意見をいただいた。

## 3 教育の実施体制

### 1) 教育環境の整備・活用

学生が学習や研究を深める際に活用できるように参考図書や関連図書についても十分に整備を進めている。最新の知識や情報を得られるように専門書や実務書、業界動向に関する資料などを計画的に増やし蔵書の充実を図っていく。

#### ■評価委員からの意見等

「3教育の実施体制」についての意見等はなかった。

## 4 教育目標の達成度と教育効果

### 1) 教育目標の達成に係る取組と評価

- ① 目標設定や記録・共有・公表について適切に行われている。
- ② 学生の就職に関する教職員による指導のバラツキをなくすために、本校オリジナルの「就活テキスト」の制作を進め、完成し次年度より活用していく。
- ③ 卒業1年後の就業の把握・公表については、卒業してから約半年後にハローワークの基準に基づき、就業状況をヒアリングしている。昨年度の学校関係者評価の中でスキ

ルアップやキャリアチェンジなどの離職というものがあるのかという意見に対して、調査したところ前向きな離職はごくわずかであり大半が消極的な理由となっていた。

#### ■評価委員からの意見等

オリジナルのテキストを見ていただき、通常のテキストにはない分野ごとに適した独自の内容も掲載されており、とても充実していると評価いただいた。企業側もこのようなものを作成しビジネスマナー等の教育を再検討していかなくてはいけない。

## 5 学生支援

### 1) 学生支援に係る取り組みと評価

小項目26、27の学校の特色や教育内容、学生の活躍、卒業後の進路実績などを、積極的に高校や企業の皆さまへお伝えできるよう努めている。具体的には、学校パンフレットや学科別のリーフレット、実績集の作成・配布を通じて、学びの内容や成果、就職・進学状況を公開。

また、ホームページでは最新情報を随時更新し、行事の様子やコンテストでの受賞歴、在校生・卒業生の声なども幅広く掲載しており、よりリアルな学校の姿を知っていただけるよう工夫している。

#### ■評価委員からの意見等

学生の支援をするにあたって保護者とのかかわりがあるのかという質問があった。本校は入学前の保護者説明会やオープンスクール（授業参観）、進級時面談等で日頃の学校教育についての理解と学生へのさまざまなサポート体制について保護者に理解していただく機会を設けている。

## 6 社会的活動

### 1) 意図的・計画的・組織的に社会活動への取組

地域における社会活動や社会貢献、ボランティア活動は学校全体として、年間の計画に基づき実施している。年度途中でも地域・企業などからの依頼があった際は、積極的に取り組んでいる。

#### ■評価委員からの意見等

「6 社会的活動」についての意見等はなかった。

## 7 管理運営

### 1) 学校の管理・運営体制の確立

基本的な管理・運営体制は確立されている。は消防計画等を基に取り組んでいる。また、個人情報保護規定やハラスメントに関する規定については、学生の手引きに記載し周知している。

■評価委員からの意見等

「7 管理運営」についての意見等はなかった。

## 8 財務

### 1) 財務の健全な運営

財務法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。なお、学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

■評価委員からの意見等

「8 財務」についての意見等はなかった。

## 9 改革・改善

### 1) 自己点検評価表にとらわれず、学校運営に関する改善点を今後も提案

していく方向性である事を委員会に提言した。様々な意見を基に学校運営に関しては日々精進する。

■評価委員からの意見等

「9 改革・改善」についての意見等はなかった。

以上

### ◆学校関係者評価委員

- ・ 税理士法人三部会計事務所 代表社員 所長
- ・ 福島交通観光株式会社 支店長
- ・ ハマツ観光株式会社 管理支配人
- ・ 城西国際大学 教授
- ・ 三英堂事務機株式会社 代表取締役社長
- ・ 国際ビジネス公務員大学校 学校長
- ・ 国際ビジネス公務員大学校 副校長
- ・ 国際ビジネス公務員大学校 教務部長
- ・ 国際ビジネス公務員大学校 事務局長